IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

岩木川ダム統管だより

018号
2018年
10月31日

IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

“浅瀬石川ダム管理３０周年”記念シンポジウム開催

～　水が結び、育む人と地域　津軽の水の可能性を再考する　～



▲大勢の方がつめかけた「シンポジウム」会場の様子



▼弘前大学大学院
土井准教授による「基調講演」



浅瀬石川ダムが完成してから、今年で30周年の節目の年を迎えることを記念し、平成３０年１０月１１日（木）“浅瀬石川ダム”が立地する黒石市において、“浅瀬石川ダム管理30周年記念シンポジウム”を開催しました。

当日は、平日の開催にも関わらず、会場を埋め尽くす程の約２００名の方が来場するという賑わいぶりを見せ、改めて“浅瀬石川ダムがもたらす水の恵み・安全・安心”への関心の高さをうかがい知ることができました。

プログラム前半は、基調講演として、『黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会』委員でもある弘前大学大学院地域社会研究科准教授土井良浩様に、「水の価値を知ろう、生みだそう、伝えよう」と題して講演していただきました。土井准教授は、“水害抑止に河川やダムの整備が大きく貢献したが、反面、その安心によって災害があったことが忘れられてしまう。水は、危険も恵みももたらすということを再認識する必要がある”と訴えました。

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

▼“パネルディスカッション”の様子



プログラム後半では、基調講演をしていただいた土井准教授をコーディネーターに、「水が結び、育む人と地域～津軽の水の可能性を再考する～」というテーマでパネルディスカッションが行われました。津軽地域で活躍する県外出身のパネリストが中心となり、他県から来た人の視点でテーマに沿った活発な意見交換がなされ、あっという間に閉会時間をむかえ、滞りなくシンポジウムを終えることができました。

コーディネーター



弘前大学大学院地域社会研究科
准教授　**土井　良浩氏**

パネリストの皆さん



黒石市地域おこし協力隊員
嶋田　英子氏



平川市地域おこし協力隊員
(東部地区担当)**福地　隆史氏**



㈱ふじさきファーマーズLABO
総括店長　**松丸　良平氏**



㈱ツガルサイコー
商品開発部長　**米坂　恵子氏**

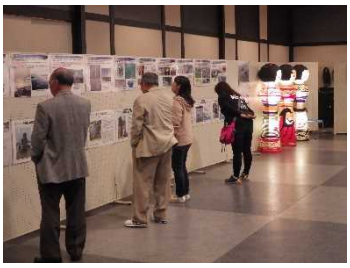
アドバイザー



国土交通省東北地方整備局
河川保全管理官　**髙橋　長幸氏**



▲“オープニングアトラクション”
津軽三味線演奏



▲“パネル展”も賑わいを
見せていました

管理30周年記念
浅瀬石川ダム記念カード



《表面》

記念カードは、
浅瀬石川ダム資料館
で配布しています。



※_このカードは、公式の
ダムカードではありません。
※_無くなり次第終了いたします。

《裏面》

秋のおいとあつめ

“中野もみじ山の紅葉”とコラボ！！





●実施期間：平成３０年１０月１０日（水）～１１月４日（日）

浅瀬石川ダムでは、完成してから３０周年を迎える節目の年を記念して通常より期間を延長し、ライトアップを実施しています。レインボーに彩られたダム堤体を見に大勢の見物客が訪れています。

『弘工祭』にて パネル展を開催



浅瀬石川ダム
イメージキャラクター
アッチャンとパパ



津軽ダムイメージ
キャラクター
ペッカー君



賑わう『弘工祭』！！

平成３０年１０月１３日（土）、１４日（日）の2日間、青森県立弘前工業高校の文化祭『弘工祭』に参加し、岩木川ダム統合管理事務所・パネル展を開催しました。津軽ダム時代から数えると、今年で１１回目となります。今回は津軽ダムの内容はもちろん、統合管理となった浅瀬石川ダムや岩木川改修１００周年関連の内容についてもパネル展示をしました。

また、ダムクイズに挑戦できるスペース・就職活動の参考情報パネルなどを設け、ダムや川、国土交通省の仕事をより身近に関心を持ってもらえるように工夫をしました。

会場を訪れた生徒さんや文化祭来場の方々にも、大変好評を博した2日間となりました。



▲「パネル展」会場の様子



▲“ダムクイズ”に挑戦する来場者

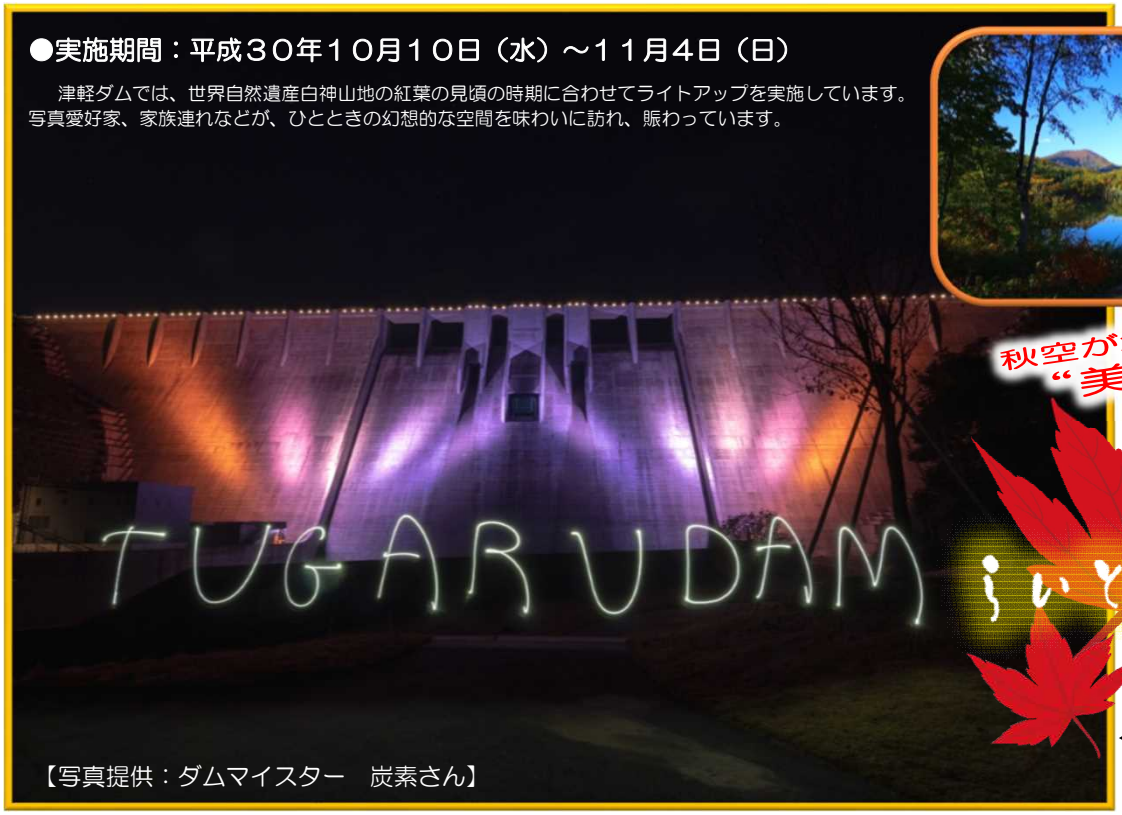
秋のいとあっぷ

●実施期間：平成３０年１０月１０日（水）～１１月４日（日）

津軽ダムでは、世界自然遺産白神山地の紅葉の見頃の時期に合わせてライトアップを実施しています。写真愛好家、家族連れなどが、ひとときの幻想的な空間を味わいに訪れ、賑わっています。



秋空が水面に映る“美山湖”



【写真提供：ダムマイスター　炭素さん】

◀※「TUGARUDAM」の文字は、ペンライトを点灯して描いたライトアートです。（シャッタースピードを遅く設定し、一眼レフで撮影しています。）

ダムマイスター炭素さんに聞く！！！『津軽ダム』Q&A

季節毎に“津軽ダム”へ足を運んでくださる『ダムマイスター炭素さん』。平成30年10月19日(金)に来所した際、インタビューさせていただきました！



▲ 左：炭素さん（ダムマイスター）神奈川県
右：しんさん（ダム愛好家）　静岡県

Q.今回“津軽ダム”を訪問した目的は？
A.秋のライトアップは、今まで来る機会が少なかった事と、カメラ機材をリニューアルしたので来ました。

Q.“津軽ダム”のライトアップはどうですか？
A.設備がすばらしく、写真を撮るのにも、撮影ポイントがたくさんあってとても絵になります。無限大の可能性を秘めていると思います。

Q.ダムマイスターの炭素さんから見た“津軽ダム”の魅力ってなんですか？
A.津軽ダムを工事している時から、完成していく姿を見ているので、まるで子供の成長を見守る親心に似た愛着があります。特に試験湛水でサーチャージ放流を見れた時は、感動しました。
　また、いろんな場面で、西目屋村の人達が津軽ダムに集まるところをみていたので、「地域に愛されてるダム」という印象が強いです。

Q.今後の“津軽ダム”に期待することは？
A.機械設備の点検・部品交換等の様子を公開する見学会を是非やって欲しいです。



※今回は、急なインタビューのお願いにもかかわらず、快く引き受けてくださいました。質問内容のほかにも、様々なダムを巡っている目線からの、貴重な意見や提案を聞くことができました。
　今後の浅瀬石川ダム・津軽ダムの活動に活かしていきたいと思います。 ありがとうございました。

平成30年度 ダム見学実施状況 ～ 上半期中間報告 ～

★ 浅瀬石川ダム ★



●4月～9月までの見学者数
７２団体／１，９７３名



板柳南小学校の皆さん（6・14）

【見学者の主なコメント】
・ダムの中が意外に寒かった。
・ダムの役割がわかり勉強になった。
・景色が良かった。

★ 津軽ダム ★



●4月～9月までの見学者数
７４団体／１，５６２名



浅瀬石川クリーンの会の皆さん（9・21）

【見学者の主なコメント】
・ダムの中は、想像以上に涼しかった。
・思っていたより楽しくてあっという間だった。
・ダムの中の通路が長かった。
・ダム湖周辺の紅葉がすばらしかった。

●岩木川ダム統合管理事務所ホームページ　http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/

編　集　後　記

津軽ダムが管理に移行し、２回目の秋を迎えました。昨年も感じましたが、なかなかダム周辺の木々が色づかなくて、“はかはか”していたのも束の間、一気に紅葉が進むという特徴に“広報泣かせだな～”と今年も思いました。10月の平日限定ですが、毎日、定点撮影し、ダム湖周辺の木々が色づく様子をHPへ掲載していますので是非、ご覧になってください。

さて、11月が目前に迫り朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきました。青森からの通勤途中で、青森空港設置の温度計が0℃に近づくのと、毎日のようにあった見学会も一段落し、冬が近づいてきたんだな～と、あらためて実感してしまいます。この時期になると、スタッドレスタイヤに交換するタイミングが非常に悩ましいです。これから厳しい季節を迎えますが、皆さんも早め早めの冬支度をすることをお勧めします。　（船水）

編集・発行
国土交通省　東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
TEL　0172-85-3035
FAX　0172-85-3061
岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/